

—— 拍手するあなたも審査員 ——

コンチェルト

コンクールニュース Vol.1

2003.11.15

インタビュー 梅田俊明氏 (仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者)

2001年のコンクールは「あっという間のとても長い時間」でした

第1回仙台国際音楽コンクールで、ヴァイオリン・ピアノ両部門のセミファイナル、ファイナルの全てを指揮し、その熱いサポートが話題を呼んだ仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者梅田俊明氏に、第2回仙台国際音楽コンクールへの思いを語っていただきました。

(略歴) 1961年東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部を卒業、研究科を修了。ウィーン国立音楽大学に留学、オトマール・スウィトナー氏に師事。1990年より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者。2000年4月常任指揮者に就任。

* 第1回仙台国際音楽コンクールはいかがでしたか…

世界的に著名な音楽家が審査委員として聴いていらっしゃるの、僕もオーケストラも審査されるような気分でした。ある意味、演奏会以上にソリスト(出場者)に沿うということを要求されました。ヴァイオリン部門とピアノ部門と立て続けにコンクールがあったので、あっという間のとても長い時間でした。これだけのコンクールを一つのオーケストラと一人の指揮者でやるっていうのは他では考えられないでしょうね。やってみて実感しました。オーケストラは通常の時間枠をはるかに超えた過酷な日々ですから、皆肉体的にも精神的にも疲れていました。そういった状況でも、出場者がいい音楽をするとオーケストラも音が良くなってきます。本番のような気分で演奏してしまう。たとえば、それがリハーサルであろうが。改めて仙台フィルはいいオーケストラだと思いましたし、やっぱり音楽家ですよ。お互いに。

* 出場者と曲を作り上げていく上でどのような配慮をしますか…

あくまで出場者主体です。出場者が上手く音楽を運んでくれれば練習の段階からいい音楽のやりとりが始まります。それが自然の成りゆきです。そうならない場合は必要以上に出場者をフォローすることはしません。コンクールですから。

* コンクールの課題曲はいつ頃から準備をするのですか…

オーケストラとして通常のレパートリーについては特に練習しません。馴染みのない曲や、演奏の難しい曲などは、実は1年とか1年半前からいろいろな演奏会のプログラムに入れて演奏したり、僕がよそのオーケストラに行き指導したりします。

* 第2回仙台国際音楽コンクールに向けて…

このコンクールをきっかけにして、出場者が羽ばたいてくれるのが一番うれしい。第1回コンクールの後に、ホアン・モンラさんはバガニーニ国際ヴァイオリンコンクール(2002年)で、ジュゼッペ・アンダローロさんはロンドン国際ピアノコンクール(2002年)で優勝していますし…。今度のコンクールでも素晴らしい音楽家達に出会って、自分もオーケストラもエネルギーをもらったり、新鮮な解釈に触れて刺激を受けたりすることでしょう。音楽に対して真摯に立ち向かわなければと、改めて思います。

<ジュニアオーケストラの練習を終えて夜8時半からのインタビューでした。お疲れにもかかわらず梅田さんは快く応じてくださいました>

(編) / (稿)

2004年5月 第2回仙台国際音楽コンクール(SIMC)が開催されます

仙台国際音楽コンクールは、仙台市が開府四百年を記念して創設し、2001年5月に第1回目が開催されました。第2回は、仙台市青年文化センターを会場に2004年5月15日から6月18日まで行われます。ヴァイオリン部門の予選を皮切りに、ヴァイオリンとピアノの2部門で、オーケストラと共演するコンチェルト(協奏曲)を課題曲として競います。第1回目の優勝者たちは、世界で活躍する演奏家として歩き始めています。第2回仙台国際音楽コンクールではどんな音に逢えるでしょうか。

※ (SIMC) は Sendai International Music Competition の頭文字を取ったものです。

コンクールスケジュール

●出場資格

1976年1月1日以降に出生した方

●開催部門

ヴァイオリン部門 及び ピアノ部門

●構成

コンクールは、予選、セミファイナル、及びファイナルの各審査段階で構成されています。詳しい日程は以下のようになっています。

予備審査	2003年 9月下旬	応募された書類&任意の独奏曲 (録音テープ等)による審査が行われました。 ※ 応募状況は別記の表をご覧ください。
オーディション	2003年 ~2004年	世界5都市で開催! (パリ・ウィーン・上海・仙台・ニューヨーク) 【課題曲】 ピアノ部門:任意の協奏曲の第1楽章をピアノ伴奏で演奏します。 ヴァイオリン部門:指定された課題曲(協奏曲)部の中から選択した1曲の第1楽章をピアノ伴奏で演奏します。
	11/29	パリ:ピアノ
	30	パリ:ヴァイオリン
	12/2	ウィーン:ピアノ
	3	ウィーン:ヴァイオリン
	5	上海:ピアノ
	6	上海:ヴァイオリン
	13・14	仙台(青年文化センター):ピアノ
	15・16	仙台(青年文化センター):ヴァイオリン
	1/7	ニューヨーク:ヴァイオリン
	8	ニューヨーク:ピアノ

予選以降の会場は仙台市青年文化センターとなります。

予選	2004年 5/15~17 6/5~7	課題曲:独奏曲&協奏曲(弦楽五重奏との共演) ヴァイオリン部門 ピアノ部門
セミファイナル	2004年 5/21~23 6/11~13	課題曲:協奏曲(オーケストラとの共演) ヴァイオリン部門 ピアノ部門
ファイナル	2004年 5/27~28 6/17~18	課題曲:協奏曲(オーケストラとの共演) ヴァイオリン部門 ピアノ部門

入賞者記念ガラコンサート
ヴァイオリン部門:2004年5月29日(土)
ピアノ部門:2004年6月19日(土)
会場:仙台市青年文化センター

応募状況・予備審査の結果

世界中から第1回の300名(39の国と地域からヴァイオリン部門157名、ピアノ部門143名)を上まわる31の国と地域から、ヴァイオリン部門148名、ピアノ部門162名、計310名の申込みがありました。これらの応募者はコンクール出場への第1関門である書類、テープなどの審査を行う予備審査を経て、ヴァイオリン部門105名、ピアノ部門96名の合わせて201名がオーディションの参加が認められました。

●国・地域別予備審査通過者

No.	国・地域	ヴァイオリン		ピアノ		計	
		申込者	通過者	申込者	通過者	申込者	通過者
1	オーストラリア	1	1	0	0	1	1
2	ベラルーシ	1	0	1	1	2	1
3	ブラジル	1	0	0	0	1	0
4	ブルガリア	1	1	0	0	1	1
5	カナダ	1	1	2	1	3	2
6	中国	9	7	16	12	25	19
7	チェコ	3	1	2	2	5	3
8	エストニア	1	1	0	0	1	1
9	フィンランド	2	2	0	0	2	2
10	フランス	4	4	5	5	9	9
11	ドイツ	1	1	0	0	1	1
12	ドイツ/日本	3	3	0	0	3	3
13	ギリシャ	0	0	1	1	1	1
14	ハンガリー	1	1	4	4	5	5
15	イスラエル	0	0	2	2	2	2
16	イタリア	1	1	4	2	5	3
17	日本	80	50	84	36	164	86
18	日本/アメリカ	0	0	2	2	2	2
19	韓国	13	13	11	6	24	19
20	ラトビア	1	1	1	1	2	2
21	リトアニア	0	0	1	1	1	1
22	マレーシア	0	0	1	0	1	0
23	モルドバ	1	1	0	0	1	1
24	フィリピン	0	0	1	0	1	0
25	ポーランド	1	1	0	0	1	1
26	ルーマニア	0	0	2	2	2	2
27	ロシア	4	4	7	6	11	10
28	スペイン	1	1	0	0	1	1
29	スイス	1	0	1	1	2	1
30	台湾	7	4	6	4	13	8
31	イギリス	1	0	0	0	1	0
32	アメリカ	5	4	6	5	11	9
33	ウクライナ	3	2	1	1	4	3
34	ウクライナ/ドイツ	0	0	1	1	1	1
計		148	105	162	96	310	201

審査委員について

♪ 第2回仙台国際音楽コンクールも世界から著名な音楽家にお集まりいただきます。

【ヴァイオリン部門】

宗 倫匡 (審査委員長)

堀米 ゆず子

林 耀基 (LIN Yao - Ji)

カール・ズスケ(Karl SUSKE)

岡山 潔 (副委員長)

金 旻 (KIM Min)

ジェラルド・プーレ(Gerard POULET)

ヴィクトル・トレチャコフ(Victor TRETIKOV)

アンドラーシュ・キシシュ(András KISS)

アーロン・ロザンド(Aaron ROSAND)

クシトフ・ヴェグジン(Krzysztof WĘGRZYN)

【ピアノ部門】

野島 稔 (審査委員長)

エドワード・アウアー(Edward AUER)

セシル・ウセー (Cecile OUSSET)

申 秀貞(SHIN Soo-Jung)

植田 克己 (副委員長)

小山 実稚恵

ペーター・レーゼル(Peter ROSEL)

エリソ・ヴィルサラゼ(Eliso VIRSALADZE)

ジェルジ・ナードル(Gyorgy NADOR)

クロード・サミュエル(Claude SAMUEL)

楊 峻(YANG Jun)

会場運営サポート

コンクール会場で受付やチケット販売などの運営をサポートします。また「まちかどコンサート」などの会場でも運営をサポート。

(125名)

広報宣伝サポート

この「コンチェルト」を発行しています。出場者のための滞在のしおりも作成中。英語版もあるよ！ホームページのボランティアコーナーも担当しています。

(16名)

仙台国際音楽コンクールをささえる ボランティア

出場者サポート

通訳や会場までの案内など出場者をしっかりサポートします。

(72名)

ボランティア委員 (20名)

第1回コンクールボランティア経験者で、第2回コンクールボランティアの活動内容や募集計画を検討するなど、ボランティア全体を支えています。

ホームスティ受入
コンクールを終えた
出場者を温かく迎えます。

(39名)

2003/11/7 現在

ボランティアは随時受け付けています

広報宣伝サポートのひとりとして

自分も何かしたい。ただそれだけで応募をしたのが、仙台国際音楽コンクールのボランティアでした。ボランティア＝時間に余裕のあるときの奉仕活動というようなイメージもありますが、「どうしてやってみる気持ちになったの？」と聞かれたら、コンクールの出場者のあの演奏を一度体感したら答えは自ずと出てきます。なぜならクラシック音楽のコンクールという一見、優雅で華やかに見える舞台に全精力をかけ、挑んでくる出場者の演奏はコンサートの演奏とはまた違う気迫、会場内の緊迫した雰囲気があります。そして順位が決められてしまうところもコンクールならではのことはないでしょうか。音楽の中でもクラシックというちょっと敷居が高いと思われがちですが、皆さんの身近に感じていただけるようこのコンクールニュース「コンチェルト」をお届けしていきたいと思います。(M)

◆◆ イベント情報 ◆◆

クラシック音楽ってちょっと敷居が高い・・・そんなことはありません。

土曜日や祝日の午後、市内中心部のホールや繁華街のオープンスペースで月1回開催される「まちかどコンサート」に出かけてみませんか？入場無料、未就学児も入場可能です。弦楽五重奏との共演による協奏曲の演奏、二重奏や連弾、弦楽合奏など、「協奏」の面白さを伝えます。コンクールの実施部門であるヴァイオリンとピアノに焦点を当てながら幅広い楽器を取り上げ、下記のスケジュールで開催します。誰でも気軽に楽しめるプログラムのコンサートです。

♪ まちかどコンサートスケジュール ♪

日 時	会 場	内 容
2003/12/20 (土) 14:00 開演	若林区文化センター ホール	ピアノ連弾と弦楽合奏
2004/1/24 (土) 14:00 開演	エル・パーク仙台 6階ギャラリーホール	演奏のほかに、楽器の構造・しくみなどを説明 楽器に触れる
2004/2/28 (土) 14:00 開演	せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア	アンサンブル
2004/3/27 (土) 14:00・16:00 開演	141 1階センターフォーラム	ヴァイオリン協奏曲・ピアノ協奏曲・弦楽五重奏と共演
2004/4/17 (土) 14:00・16:00 開演	141 1階センターフォーラム	コンクールの課題曲など *仙台フィルのメンバーによる

仙台オーディションにご招待

ピアノ部門 : 12月13日(土)13:00～19:00
14日(日)10:30～16:15

ヴァイオリン部門 : 12月15日(月)13:00～19:00
16日(火)10:30～17:15

会 場 : 青年文化センターコンサートホール

申 込 方 法 : 往復はがきに①希望日②住所③氏名④電話番号⑤希望人数(2名まで)
を記入のうえ下記まで郵送してください。12月3日(水)(必着)

申 込 先 : 〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘 3-27-5

仙台市市民文化事業団 コンクール推進課 仙台オーディション係

※ オーディションの進行状況により各終了時刻が変更になる場合があります。未就学児入場不可。

※ はがき1枚につき1日分のご招待となります。

編集後記 記事を書く難しさ。勤務終了後の編集作業・・・疲れました。でも「今度はどんな人がコンクールに出るのかな」って思い、ワクワクしながらの作業でした。第2回仙台国際音楽コンクールをお楽しみに！(栗ノ橋)

～ボランティア楽し若さがよみがえる(長内)～

発 行：仙台国際音楽コンクール広報宣伝サポート 問合せ：仙台市市民文化事業団コンクール推進課
T E L : 022-727-1872 e-mail: info@simc.jp (仙台国際音楽コンクール事務局)